

大桑 第118号 9月号 まさたか

さかえく せかい か
栄区から横浜を変える！

JR大船駅・JR本郷台駅・JR港南台駅で配っています！

栄区から、しがらみのない市政(政治)を実現します！



市議員3期目
よろしくお願いします！

市議員としての約束

- 1、選挙の前も選挙の後も駅前に立ち続け新聞(広報)を配り続けます。
- 2、大桑まさたかの政務調査費を公開し続けます。
- 3、私たち市民が市政(政治)に参加する流れをつくります。
- 4、子や孫のために持続可能な横浜(社会)をつくります。

MISIAの森プロジェクトなどについて

大桑新聞8月号(先月号)でお知らせをした「MISIAの森プロジェクト」ですが、予定どおり、8月15日(水)にキックオフイベントが開催され、「MISIAの森プロジェクト」がスタートしました。当日は、私もこのイベントに出席してきましたが、1日で1,200人以上の方が訪れたようです。

改めてお知らせをしますが、「MISIAの森プロジェクト」とは、「上郷森の家や上郷森の家を取り囲む自然観察の森」のあらたな魅力づくりとして、MISIA(アーティスト)の活動(自然保護など)と連携し、その魅力を発信していこうというものです。

「MISIAの森プロジェクト」は、今後もイベントを開催していきますが、それと同時に、ホームページなどで森の魅力を発信していきます。

最後に、このプロジェクトとは直接関係ありませんが、上郷森の家の環境整備のために、バーベキュー場周辺において駐車場などを整備する予定となっています。ちなみに、この工事はできるかぎり緑がそこなわれないように気を付けておこないます。

大桑新聞

第118号(9月号)

連絡先

横浜市議員 大桑正貴(市政報告書)

〒247-0005 神奈川県横浜市栄区桂町688-4-601

TEL : 045-892-5187

FAX : 045-892-5187

H P : <http://m-okuwa.net/>

E-mail : m-okuwa@mvg.biglobe.ne.jp

プロフィール

大桑正貴(まさたか)

昭和48年(1973年)7月4日生まれ横浜育ち 血液型A型

横浜市立小山台小学校入学

大分県立大分舞鶴高校入学(1年次冬、転勤で横浜へ戻る)

神奈川県立大岡高校卒業

神奈川大学法学部法律学科卒業

平成14年(2002年)12月 アシスト株式会社退職

平成15年(2003年)4月 横浜市議員 初当選

平成19年(2007年)4月 横浜市議員 2期目当選

平成21年(2009年)9月 明治大学 専門職大学院卒業

平成23年(2011年)4月 横浜市議員 3期目当選

家族 : 妻、子(3人)、ママ(猫)、グリ(犬)

JR大船駅・JR本郷台駅・JR港南台駅、いずれかの駅で配布しております。

7月分の収支報告(収入は政務調査費55万円/毎月)

平成24年度7月現在の政務調査費累計残高は101,239円です。

今月の支出の内訳

研究会・研修会費	0円	会議費	0円
調査研究費	18,960円	事務費	8,592円
資料費	7,170円	事務所費	90,184円
広報・広聴費	402,316円	その他	0円
人件費	0円		

7月の支出合計は

512,698円です。

近況報告

平成24年第3回市会定例会(本会議)が、9月6日(木)から10月30日(火)で開催される予定です。また、この平成24年第3回市会定例会開催中に、平成23年度の決算特別委員会が開催されます。

平成24年度も半年が過ぎた時点で、平成23年度の横浜市の決算審査をすることになりますが、この決算審査を今年度(平成24年度)や平成25年度の横浜市の様々な事業に活かしていければと考えております。

最後に、第3回定例会は期間が長く、決算特別委員会では、市長や局長などとの一問一答でのやり取りもあるので、インターネット中継なども含めご覧頂ければと思います。

上郷開発について

これまで何度も大桑新聞でお知らせをしてきた上郷開発についてですが、最近の状況を、改めて、お知らせします。

上郷開発は、平成24年1月に東急建設(株)から新たな開発計画が示されました。その後、正式に東急建設(株)から開発計画が提案されていませんので、正確なことは言えませんが、今回の開発計画は、前回の開発計画よりも緑が多く残る計画となっています。しかし、緑が失われる開発計画であることは間違いありません。

一方で、上郷開発の対象となっている土地は、東急建設(株)だけが地権者として土地を所有しているのではなく、地元の方も地権者として土地を所有しています。確かに貴重な緑ではありますが、あくまでも個人の土地ということです。

このような前提がある以上、「緑をそのまま残すことは難しい」という現実が目の前にあるのも事実です。もう少し具体的な言い方をすれば、上郷開発がなくなっても、地権者は(緑地の開発という一定の制限はありますが)、建物などを建てることができます。

最後に、横浜市(栄区)としては、緑地を保全するという方向ではありますが、その前提として、当然のことながら地権者の意志が必要になります。地権者の意志を尊重しつつ、緑地を保全するという難しい状況について、ご理解頂けるようお願いいたします!

重症心身障害児者施設について

これまでも大桑新聞で何度かお知らせしてきた、多機能型の重症心身障害児者施設ですが、平成24年9月に開所式、10月に開所と具体的な日程が決まってきたので、ここでお知らせします。

この多機能型の施設は、診療施設があるため短期入所や日中の一時的な支援ができたり、相談支援機能があるなど、色々な角度から重症心身障害児者とその家族を支え、利用者が安心して生活ができるための施設となっています。

次に、この施設の場所ですが栄区桂台中1143-5(桂台中学校の横)となっており、名称は「横浜市多機能型拠点 郷(さと)」となっています。

最後になりますが、この施設に対して皆様のご理解を頂き、地域になくてはならない施設となることを願っています。



大桑新聞ではみなさまとともに、
栄区について考えていきたいと思っております。

HP : <http://m-okuwa.net/>

E-mail : m-okuwa@mvg.biglobe.ne.jp